

## 江別市本庁舎建設基本計画(案)に関する市民説明会(要点筆記)

日 時: 令和6年3月7日(木)18:30~20:30  
場 所: 江別市民会館 会議室37号  
参加者: 26名  
<事務局: 江別市> 野口総務部調整監、西島参事(庁舎耐震化担当)、上ノ山主査(庁舎耐震化担当)、大久保主査(庁舎耐震化担当)  
<その他:(株)ドーコン> 生沼主任技師、和田技師

### 説明会概要

#### 1 開会

#### 2 説明事項

・江別市本庁舎建設基本計画(案)について  
事務局から「江別市本庁舎建設基本計画(案)」について説明

#### 3 質疑応答

	質 疑 内 容	回 答
1	コスト管理は市が主導でやってもらいたい。コストが少し高いように感じる。これ以上規模を縮小する必要はないが、1~2割コストを削減する方法はたくさんあるので、設計事務所にコストダウンを強く検討させるべきだと思う。	建設コストについてはこれからも十分に管理しながら進めていく。昨今、建設単価が上昇しているが、工夫を凝らしてコストを下げていることも可能と考えている。
2	昨年度の市民説明会で、将来的な職員数の減少に伴う庁舎面積や駐車場台数の検討について、調査を行うと回答を得たが、この計画書に記載されていない。調査は行っているのか。	昨年3月、4月の繁忙期に来庁者数と駐車台数の調査を行った。今回の基本計画案に記載はしていないが、今後庁内、庁外の検討委員会を経て最終的に資料編として公表する予定である。職員数は、定年延長の関係上今後しばらくは増加すると想定しているが、将来的に人口が減少し、財政規模が縮むことを踏まえると、長期的には職員数も減少することを見込むので、そうした際にフレキシブルに対応できる庁舎であるべきと考えている。
3	デジタル庁では今後の庁舎や窓口のあり方について報告書が出されており、こうした指針を踏まえた庁舎整備がなされるべきではないのか。社会的弱者の方ほど、デジタル化による恩恵は	デジタル化が進むことは想定しているが、庁舎には防災拠点としての役割も求められる。職員の数について、50~60年先を見通すことは困難であるが、臨機応変に対応できる庁舎として

	大きく、渋谷区役所、豊中市役所など先進事例を参考にしながら、デジタル技術を積極的に活用すべきである。また、将来的な人口知能(AI)の導入により、多くの仕事は AI にとって代わられるため市職員の数も減ると見込まれる。	設計を進めていきたい。
4	駐車場台数の算出について、昭和40年代の論文を基に算出しているようだが、令和10年以降の新庁舎計画に、このような古い論文を参照することは無理があるのでは。	論文は計算の例示として示しているものであり、実際には駐車場の利用状況調査を行って駐車場台数を算出している。将来的な職員数や来庁者数が減少する可能性も踏まえながら設計に反映したいと考えている。
5	庁舎整備の前提は防災にあり、非常時に市民が避難できる場所であるべき。きちんと職員がいて、市民が安心して通えて、避難できて、日頃からイベントなどができる場所になったら良いと考える。	現庁舎は耐震性能が低いことから、防災拠点として一刻も早い庁舎の整備が必要と考えている。
6	市民会館には駐車場がないので、市民会館の利用者も市役所の駐車場を利用している。最低でも500台分の駐車場があるべきと考える。また市民会館利用者の駐車場はどう確保するのかも検討してほしい。	現市庁舎の跡地の活用方法は今後の検討事項となる。 新庁舎では、必要な会議室を確保するのと併せて、市民向けのイベントや臨時的な手続が可能な多目的スペースの設置を検討している。
7	市民会館の会議室は、市の業務での利用が多く、市民の利用者が使えない場合もあるので、新庁舎ではそのようなことがないようにしてほしい。	
8	市民会館も耐震性能が低く、今後の方向性をどうするのか検討してほしい。	市民会館のあり方については、所管課において今後検討する予定である。
9	新庁舎の配置計画について、将来的に市民会館を解体すると想定すると、C案の場合5万㎡の敷地を確保できるが、B案の場合使える面積が減ってしまうのではないかと。	(意見)
10	新庁舎は50年～70年使うことになるが、若い世代の意見を十分に聞けていないのではないかと。改めて聞く機会を設けないのか。	若い世代の方にもパブリックコメントで意見を頂きたいと思っている。
11	今後デジタル化が進む中、わざわざ来庁する人は少なくなるのではないかと。	(意見)
12	市庁舎建設に係る財政負担を懸念している。庁舎整備基金がどのくらいあるのか教えてほしい。	庁舎整備基金は令和5年度末の決算見込みで約11億円となる。今後も市有地の売り払いなどで庁舎整備基金を積み増すのと併せて、財政調整

		基金の活用も考えていきたい。
13	水道部も新庁舎に入るとのことだが、業務上、同じ庁舎である必要があるのか。現水道庁舎や保健センターのあり方、えべつみらいビルに入居できる可能性など、検討したのか。	水道庁舎は、地震等災害時の活動拠点としての役割を果たすために本庁舎への集約が必要と考えている。
14	緊急防災・減災事業債は活用可能なのか。市の実質負担額が117億円とあるが、毎年度償還する起債はおおよそいくらか。	返済期間は25年であり、交付税措置を含めると年あたり5億円前後の負担となる。また、緊急防災・減災事業債の延長がなくなった場合、交付税措置率が若干低くなるが、防災対策事業債の活用も考えられる。
15	庁舎建設予定地である江別高校跡地は基本財産基金の土地であるため、一般会計からの費用負担が生じるが財政的な問題はないのか。	庁舎が建った後には買い戻しというのが今までの流れであり、財政部門と今後も検討していく。
16	パブリックな建物として必要なものは何かという意識が全体に希薄だと思う。江別らしい象徴性がある価値がある、用事がないけど行きたくなるような建物にすべき。	(意見)
17	冬期間に災害が発生した場合を考えると、簡易トイレも置きやすい屋内駐車場が必要ではないか。	(意見)
18	弱者救済という観点から、保育園や学童保育、子ども食堂などを併設してはどうか。	(意見)
19	今後の基本設計はコンペなのか、指名競争入札なのか。	プロポーザル方式の事業者選定を予定している。
20	建物の構造は、大断面木材による木造の建物も検討すべきではないか。	(意見)

#### 4 閉会

#### 5 説明会開催後いただいたご意見

	内 容	回 答
1	建築費の数字がわかる方に市民側の専門委員になってもらうべきだと思う。市の職員だけだと、当然ですがこれまで交渉の経験がなく、言われるがままの見積もりを飲まされ多大な市民負担になるから。	外部有識者の意見も伺いながら、今後も引き続き検討してまいります。

以上